

新社会人激励のつどい

松本市内の企業に新規就職した若者を歓迎、激励するため、松本市・松本商工会議所・（一社）松本青年会議所・松本公共職業安定所・松本地区雇用福祉協議会の主催により、毎年4月上旬に激励会を開催しています。

開催状況

区 分	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6
開 催 日	—	4月9日	4月8日	4月5日	4月9日
事業所数（所）	—	21	25	26	37
参加人数（人）	—	104	100	102	151

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、中止

雇用促進機関等の育成及び事業支援

ア 松本地区雇用福祉協議会の育成

中小企業の雇用対策のため労働関係機関や学校等との情報共有を図り、また労働者の福祉向上対策、産業事情視察などを行い、労働諸問題に対処している当協議会を助成します。

イ 雇用啓発事業

求職者の雇用促進を図るため、商工会議所の事業を支援・助成します。

ウ 職業訓練校の育成

若年技能後継者育成を目的として、県の認定した職業訓練校の育成と振興を図るため助成します。

就職氷河期世代支援事業

雇用環境が厳しい時期に就職活動をしたため、不安定な仕事に就いたり、無業の状態にあるなど、様々な課題に直面している方々がいます。

就職氷河期世代の活躍の場を広げられるように、就労に係る相談事業を実施します。

令和6年度の実施状況

就職氷河期世代相談支援事業

既存の相談事業を拡充し、労働に関する専門知識と資格を有する社会保険労務士による相談窓口を設け、個々の悩みや不安を解消しながらニーズに合った適切な支援へとつなげ、職業的自立を後押しする（地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用）。

ア 相談期間

令和6年5月～令和7年3月 全41日間（4時間／日）

イ 相談員数

社会保険労務士4名

ウ 相談時間

50分／人

エ 相談件数

16件

女性活躍推進事業

雇用における人員・人材不足が懸念される中、結婚や育児により離職した女性の再就職など、貴重な労働力の確保に期待が寄せられています。

社会的ニーズが高まるデジタル人材の育成により、女性の就労や活躍の場を支援します。

令和6年度の実施状況

女性デジタル人材育成研修事業

一般財団法人松本ものづくり産業支援センターのICT拠点施設「サザンガク」と連携し、企業のデジタル化を支援する上で有効となる基礎的なITスキルとしてExcelの認定資格MOS（マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト）を取得できるよう研修を実施（地域女性活躍推進交付金を活用）

ア 前期

（ア）開催期間

令和6年7月～令和6年10月 全12回（90分／回）

（イ）開催場所

（一財）松本ものづくり産業支援センター「サザンガク」

（ウ）研修内容

一般コース（MOSアソシエイト資格取得） 1コース

（エ）参加者数

一般コース 10名

イ 後期

（ア）開催期間

令和6年11月～令和7年1月 全12回（90分／回）

（イ）開催場所

（一財）松本ものづくり産業支援センター「サザンガク」

（ウ）研修内容

一般コース（MOSアソシエイト資格取得） 1コース

上級コース（MOSエキスパート資格取得） 1コース

（エ）参加者数

一般コース 10名

上級コース 6名

(5) 人材育成事業

松本市ものづくり人材育成連絡会

技能五輪全国大会の開催を契機に、次代に繋がる人材育成施策として、学校、経済団体や行政などで構成する連絡会組織。

平成25年7月24日に設立し、構成団体で連携をとりながら地域産業を担う若年者の育成や地元への就職、産業に必要な人材の確保など、総合的に人材育成を支援します。

ア 進路情報誌「中学生が体験！松本の『ものづくり』」の製作

若年者への技能尊重気運や日本の産業を支える「ものづくり」に若い世代に職業として関心を持ってもらうため、ものづくり系の企業で職場体験した市内の中学2年生に体験の感想や指導いただいた企業の代表者から中学生へのメッセージを取材し、編集した冊子の作成(令和5年度から冊子は紙媒体から電子媒体に移行)

- (ア) 特集取材人数 2名
- (イ) 職場体験取材企業 8社
- (ウ) 職場体験取材実施校 4校
- (エ) 出前講座取材実施校 1校

イ 企業見学会

市内の企業に協力をいただき、市内の高校生、専門学校生及び大学生を対象にした企業見学会を実施

令和6年度の開催状況

(ア) 日時

- a 令和6年6月17日(月) 12:40～16:50
- b 令和6年12月23日(月) 12:20～17:00

(イ) 見学企業

- a (株)デリカ、(株)デイリーはやしや
- b パナソニックオートモーティブシステムズ(株)、シナノカメラ工業(株)

(ウ) 参加人数

- a 9名
- b 7名

(エ) 募集方法

市内及び周辺地域の高校、専門学校及び大学へ募集、告知

(オ) 主な感想

- ・ 仕事理解に役立った。
- ・ 会社の雰囲気を知ることができたので将来仕事をする時の参考になった。
- ・ いろいろな製造の技術を見られて勉強になった。
- ・ 進路を決めていくのに参考になった。

ウ 技能五輪全国大会(全国青年技能者技能競技大会)

(ア) 令和6年度開催内容

- a 日程
令和6年11月22日(金)～25日(月)
- b 場所
愛知県(愛知県国際展示場他、13会場)

- c 競技職種数
全 4 1 職種
- d 松本市出場選手
4 名（職種：配管、電子機器組立て、西洋料理、レストランサービス）
- e 松本市成績
敢闘賞 1 名（レストランサービス部門）
- エ 連絡会構成団体（学校等）が実施する技能奉仕活動への支援
令和 6 年度の実施状況
長野県松本技術専門学校（建築科）が実施
 - （ア）実施日
令和 6 年 7 月 2 3 日（水）～ 2 4 日（木）
 - （イ）内容
南部公園（松本市平田東） 北側木製藤棚の修繕
- オ 関係団体への支援・共催など

(6) 労働関係懇談会

市長と労働団体との懇談会

この懇談会は、松本地区労働者福祉協議会に加入する労働 4 団体からの要請に基づき年 1 回行っているもので、松本市の重要施策について労働団体に説明し意見や感想を伺うとともに、労働団体からの市政に対する要望や提言などについて意見交換を行い、相互の理解と協調を図ろうとするものです。

令和 6 年度の開催状況

- ア 開催日
令和 6 年 1 1 月 2 6 日（火）
- イ 懇談項目
 - ・人口定常化に向けた U ターン就業者増加における取組みについて
 - ・将来の労働人口を増やす市政運営について
 - ・「サービスを提供する側と受ける側が共に尊重される社会」を目指して